

2023年1月18日(水)第三水曜祈祷会

マルコの福音書1:12~20

「神の国の祝福に与るには」

【マルコの福音書について】

- ①マルコはペテロが宣べ伝えたことを書き記した。4つの福音書の中で最も()のもの。
- ②()を対象として書かれている。イエス・キリストの系図は省略。アラム語の説明など。
- ③イエスの()や()を記すことに重点が置かれている。イエスの言葉や説教が少ない。

1. 神の国は近づいた(1章1~11節) *「福音」とは、良い知らせ(Good news)のこと。

- ①「バプテスマ(洗礼)のヨハネ」とは、どんな人物ですか。
→
- ②ヨハネは、悔い改めのバプテスマのほかに何を宣べ伝えましたか。
→
- ③イエスさまがバプテスマを受けることにはどんな意味がありますか。
→

2. 時は満ちた(1章12~15節) *「時が満ち」とは、神の定められた時(カイロス)の到来。

- ①イエスさまは宣教を開始されて、まず何がありましたか。
→
- ②イエスさまが宣べ伝えた福音の内容はどのようなものですか。
→
- ③「悔い改める」とはどういうことですか。
→

3. わたしについてきなさい(1章16~20節) *「ご覧になる」とは、じっと見つめられること。

- ①イエスさまはどうして4人の漁師に目を留められたのですか。
→
- ②「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしてあげよう。」とはどういう意味ですか。
→
- ③彼らがイエスさまの弟子となるために何が必要でしたか。
→

【適用と分かち合い】

- ①バプテスマのヨハネの使命とは何ですか。
- ②「福音を信じなさい」とはどういうことですか。
- ③イエスの弟子になるとはどういうことですか。
- ④神の国の祝福に与るにはどうしたらいいですか。